山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」事業
PFI 事業者選定公募型プロポーザル審査委員会

審査結果報告書

令和 8 年 11 月 9 日

熊本県山江村

Ⅰ　審査の経緯

１．審査委員会の開催経緯

（１）開催日

令和８年 11 月６日（金曜日）

※提案書審議期間：令和８年 10 月 26 日（月曜日）～11 月６日（金曜日）

（２）審議内容

①提案書の内容について

②プレゼンテーション、質疑応答

③採点

④優先交渉権者選定

２．審査方法

山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」事業 PFI 事業者選定公募型プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）は、令和８年９月 11 日に公表した事業者選定基準に基づき、提案価格点及び提案内容評価点を合計して総合評価値を算出し、総合評価値が最も高い提案を最優秀提案とすることとして審査を行った。

（１）提案価格点の点数化方法

提案価格審査は、本事業（PFI 方式）に関する価格に行うこととし、次に示す考え方に基づき、評価価格を算定する。なお、点数化にあたって、小数点第１位以下が生じた場合には、小数点第１位を四捨五入する。

審査項目	評価価格の算定
（１）本事業に関する価格（20 点）	
ア　本施設等整備費 イ　本施設等整備維持管理・運営費	・応募者が提案した本施設等整備費、施設等整備維持管理・運営費を対象とし、以下の項目を評価価格の算定に用いる。 A…本施設等整備費（円） B…施設等整備維持管理・運営費（円） ・評価価格は以下の式で求める。 （事業期間中の実額総額を評価する。） 評価価格＝A+B

算定された評価価格に基づき、次に示す方法により、点数を付与する。

審査項目	配点	点数化方法
（１）本事業に関する価格	20	得点＝20×$\frac{\text{応募者中の最低の評価価格}}{\text{応募者の評価価格}}$

（２）提案内容評価点の点数化方法

提案内容審査は、提案内容の各項目の内容評価を、次に示す5段階評価により得点を付与する。平均点を提案内容評価点とし、平均点について小数点第3位以下が生じた場合には、小数点第3位を四捨五入する。

評価	判断基準	点数化方法
A	提案内容が非常に優れている	5点
B	提案内容が優れている	4点
C	提案内容が普通である	3点
D	提案内容がやや劣っている	2点
E	提案内容が非常に劣っている	1点

（３）総合評価値

総合評価値は、提案価格点と提案内容評価点の合計点数とする。審査委員会は、合計点数により、最優秀提案及び優秀提案を選定する。

合計点（100点）＝ 提案内容点（80点）＋ 提案価格点（20点）

合計点の最も高い提案が2以上ある場合は、提案内容点が最も高いものを最優秀提案として選定し、提案内容点も同点の場合には、審査委員会の投票によることとする。なお、最優秀提案者の選定にあたっては、総合評価値が60点以上（基準点）であることを条件とする。

Ⅱ　審査結果

本事業では、参加表明のあった くりえいと山江 から提出された提案書を審査委員会において審査し、総合評価値を算出した。審査の概要及び総合評価値の結果については、以下のとおり審査した。

１．審査の概要

くりえいと山江の提案は、要求水準を満たしたうえで、事業計画、設計、建設、維持管理及び運営等、すべてにおいてグループの保有する技術やノウハウを活かした提案であり、安定した事業運営が期待できるものと見込まれる。

２．総合評価値の結果

（１）提案価格点

今回は提案者が1者のみであり、くりえいと山江の提案価格（税込み）は提案上限額（税込み）を下回っていたため得点は20点とした。

	施設等整備	施設等維持管理（19年）	得点
提案上限額	1,474,796千円	51,300千円	
提 案 価 格	1,474,770千円	51,260千円	20点

（2）提案内容評価点

今回は提案者が1者のみであり、くりえいと山江の提案内容を審査委員会で評価したところ、村の要求水準を満たしているため、採点は絶対評価とした。各項目内容評価点を合計し、得点は55点とした。

各項目内容評価点の合計	得点
80点	55点

（3）総合評価値

提案価格点及び提案内容評価点の合計は75点となった。

	配点	得点
提 案 価 格 点	20点	20点
提案内容評価点	80点	55点
総 合 評 価 値	100点	75点

3．選定結果

審査委員会は総合評価値75点を獲得し基準点（60点）を上回った「くりえいと山江」を最優秀提案者として選定し、同者を優先交渉権者に選定したことを報告する。